

令和6年度第9回千曲市教育委員会定例会会議録

1. 日 時

令和6年12月25日（水）午後3時30分から午後5時15分

2. 場 所

千曲市役所 302会議室

3. 会議日程

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 議席指定の確認について
4. 報告事項
5. その他
6. 閉会

4. 議 題

○報告事項

- | | |
|--------|-----------------------|
| 報告第39号 | 令和6年12月千曲市議会定例会報告について |
| 報告第40号 | 教育長、部・課長報告について |
| 報告第41号 | 行事の共催・後援について |
| 報告第42号 | 1月の各課の行事予定について |

5. その他

- (1) 次回定例会の開催について
- (2) その他

6. 出席者

○委 員

小松信美教育長 中村洋一職務代理者 松田祐子委員
新海敦子委員 吉味淳委員 若林直美委員

○教育委員会担当部局

小岩教育部長、吉池文化創造担当部長（歴史文化財センター所長事務取扱い）、小林教育総務課長、湯原生涯学習課長、町田スポーツ振興課長、平原文化課長、高野第一学校給食センター所長、松峯第二学校給食センター所長、田中総務係長、北沢総務係主任

1. 開会 教育部長

2. 教育長あいさつ 教育長

3. 議席指定の確認について

総務係長

委員の議席の指定につきましては、千曲市教育委員会会議規則第4条に「委員の議席は、教育長が定める」となっています。12月5日に松田委員へ市長から任命書交付が行われました。このほど、委員の再任があった関係で、改めて、教育長が定める議席を、本日の定例会で確認していただくこととなります。教育長より、お願いいたします。

教育長

それでは、委員の議席番号は、教育長が定めるとのことです。委員の就任歴、年齢によりまして、議席番号1番に中村職務代理者、2番に松田委員、3番に新海委員、4番に吉味委員、5番に若林委員と定めます。「議席の定め」については、以上といたします。ご承知をお願いいたします。

4. 報告事項

【報告第39号】 令和6年12月千曲市議会定例会報告について

委員

フリースクールについての発言で、長野県が行っている信州型フリースクール認証制度について、答弁の中で言われていたとおりだと思いますが、交付金についてはフリースクール自体に出ているもので、そこに通っている子どもや家庭については県からの金銭的支援は一切ないという状況です。来年度からの千曲市の制度については、子どもや家庭に還元されるように考えていただきたいと思います。フリースクールの実態について教育委員会としても、どんな状況にあるのか、どんな環境の中に子どもがいるのかをリサーチしていただき、応援していただけることを願っています。

教育総務課長

県の信州型フリースクールの認証制度が今年度から始まり、事業者側の支援は県が行う。利用者への支援については市町村にお願いしたいとの依頼が県からあった。当市としては、来年度から利用者補助を始めるということを今回の議会での答弁で申し上げた。今年度より補助制度を開始している市もいくつかありますが、千曲市の実態に合わせた要綱を制定し、来年度からスムーズに始められるよう準備していきたい。フリースクールとの連携については、学校の先生が定期的に訪問を行い、施設での状況をお聞きするなどして連携をしているところです。また、今年度からオレンジファムの代表者に千曲市相談支援関係者連絡会議に委員として参加していただいております。今後も連携を強めていきたいと考えています。

委員

不登校の子どもに関することですが、高校、大学へ行っても、またそこでドロップアウトするケースが目立ち、そのことに関する相談件数も非常に増えてきているように思います。義務教育終了後の相談支援先を明確にして卒業させるということを、中学校の進路指導でも取り扱っていただければと思います。もう1点、ふれあいルームですが、環境、防犯面、防災面を含めて、指導員が一人で対応されているので、その辺をどうしていくのか。また、開設が10時から15時の時間が、保護者の方のニーズになっていないのでは。色々な面から、場所を再考する必要があるのではと思います。埴生中学校にあるひまわり教室と統合など可能かと思っています。

教育長

大事なことで、いただいた意見を参考に、十分に検討させていただければと思います。

委員

中学校の不登校について、中学生が不登校になるきっかけとして、クラス替えが結構あるようです。クラスが替わったら、同じクラスに仲が良かった子

教育長	がいなくなって、学校に行けなくなってしまったということを聞きます。クラス替えは学校単位で行っていると思いますが、1年生から2年生への進級時に行われるクラス替えは必要なのか、クラス替えの頻度を決めるのも学校単位なのでしょうか。 クラス替えを行う理由の1つに、学校全体で子どもたちの様子を見ながら、色々な子どもと触れ合わせたい、ということもあるのだと思います。委員発言のとおり、学校でもクラス替えがきっかけで不登校になる生徒がいるということも認識しています。思春期に入る時期でもありますので、各学校対策を考えているとは思いますが、学校長とも、どうあるべきかを考えていきたいと思います。
委員	稲荷山の重伝建地域について、毎年修復だけで地域計画としてはあまり進んでいない。どこかで大きな財源をかけて、稲荷山地区をよい方向に進めるということは難しいのでしょうか。
文化創造担当部長	令和4年度に、稲荷山地域をどうしていくかというまちづくりの構想はできました。これまで行ってきた修理修景は、文化庁の補助金で行ってまいりましたが、保存計画に記載のある、例えば電柱を見えなくするなどの構想は国土交通省の交付金事業になってきます。稲荷山地域については、まちづくり構想の具体像がなかったため、そういった交付金の申請も一切行えなかった状況にあります。構想ができたからと言って、来年再来年ですぐにどうかなる話ではありませんが、計画的に着実に進めていきたいと思います。 また、千曲市もいろいろな事業を行っており、特定の課だけに予算をつけるということも難しいですので、必要な予算要求は行っていますが、その予算が計上される、ということは保証できるものではありません。
委員	補助金があっても、地元住民に対する負担はとても大きいように思います。自分たちの現在の生活を向上させるために回すお金があるものの、過去の物件を修復することにお金をかけなければいけない、ということも大変だと思います。
文化創造担当部長	補助金の規模が全国的に及ぶものですので、千曲市だけにとすることは難しい話だと思います。
委員	オーガニック野菜についてですが、値段が高い状況がありますが、給食の食材に取り入れていくことに対して前向きに検討していくという回答ですが、具体的な話はあるのでしょうか。
第二学校給食センター所長	オーガニック給食ですが、千曲市内で有機 JAS を取得している業者があり、訪問して畑を見せていただいたり、お話をお聞きすると、一般の野菜とほとんど変わらない値段で、学校給食食材として提供可能、というお話でした。品質的にもきれいな野菜で、第二学校給食センターでの食数の量でしたら、納品ができますという話もいただきました。品質も料金的にも問題がなく、地域の食材をそのまま使うことができ非常にメリットがありますし、子どもたちにもいい食育になるということもあり、オーガニック給食の提供をさせていただくことになりました。ただ、第一学校給食センターの食数となると非常に数が多いので、第一学校給食センターまで広げてということは難しいのが現状ですができるところから取り組んでいきたいと思っております。 毎日オーガニックの食材を使う、ということではできませんが、現在の計画ですと、月に1回くらいであればオーガニック給食の日を取り入れていけるかと思います。また、今回の取組に対して、健康のためにオーガニック給食を取り入れるというわけではなく、市としても環境に配慮したということが大きいです。農林課とも連携をとって事業を進めておりますが、農林課としても健康にいいからという理由よりも、環境に配慮した食材だからということを中心として、オーガニック野菜を普及させていくという話です。

	給食提供も月に1日だけですので、センターとしてもオーガニック給食を食べて健康になる、という観点ではありません。
委員	子育てガイドブックを2冊体制にとの質問について、2部構成にするのはとても大変なことだと思います。この小さい冊子に、情報がとても丁寧に詰まっているといつも感じております。ただ、義務教育終了から18歳くらいまでの情報があまり多くないことと、千曲市の相談先の一覧表が掲載されておりますが、そこに相談対象の年齢が記載されていないこと。こちらについて、どのくらいのお子さんを想定しているのか、年齢層まで付記していただくと2部構成にしなくても分かりやすくなるかと思います。 もう1点、教育相談センターの運営事業について、電話相談件数が少ないのではという指摘があり、課長から答弁いただいています。ただ、教育相談センターだけの話ではありませんが、保護者も、相談をしても学校の味方をされる。相談内容がただ学校に返されるだけと感じて継続相談をしなくなるケースが結構あるように思います。相談を受ける側の思いも分かりますが、一度は相談者の話を傾聴いただくこと、それから相談対象の子どものことを一緒に考えるような言葉を返していただくような相談を行っていただきたいと本件に限らず、相談事業に携わる方にはお願いをしたいと思います。
教育長 教育総務課長	色々な機会を通じて、周知して参ります。 教育相談センターの電話相談、教育相談室のほかに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーもおりますので、相談者の立場に立って相談を受けるということを伝えていきたい。
委員	給食費無償化ですとか、フリースクールの補助ですとか、全体的にお金がかかる話が多いですが、給食費無償化をした都市で、給食の内容がとても低下したということもあります。税金は納めない、でもサービスは向上させろ、と言われても、ない袖は振れません。そうは言ってもやらなければいけないことはありますが、お金の問題については毅然とした態度で、データを重ねた上で答弁していただいて、市民の方にも実情をもっと知っていただく必要があるのではないかと思います。
委員	千曲市の教育の方向性の話がありました。こども基本法が制定されて、自治体における子ども施策の実施ということが非常に求められており、そのための条例を整えなさいという国の方針がありますが、千曲市ではこどもの権利条例といったものについては、どのようにこれから動いていくのか、まだそこまで話が及んでいないのか、状況をお聞かせいただければと思います。
教育部長	今回組織改編を行った上で、子どもの関係は保育含めて教育委員会で考えていくということになります。幼少時から子どもの育ちの学びをトータルで考えていくという構想でおりますので、来年度以降しっかり進めていくという答弁をしております。

【報告第40号】 教育長、部・課長報告について

教育長	－資料に基づき説明－
委員	給食のアレルギー対応については、各学校で丁寧に対応していただいていると思います。ただ、担任の先生、養護教諭の先生にもしっかり周知いただく必要があると感じます。アレルギーを持つ子どもの個別の取組プランを学校職員が知らない、というケースもあり、職員への周知を徹底していただきたいと思います。
第一学校給食センター所長	アレルギー対応については、給食センター所長とアレルギー担当が学校に赴いて、学校管理者、給食担当者、養護教諭と面談を行い進めています。各学校の中での周知となると、センターではなく、学校での対応になります。

教育長 担任が出張などで不在時、他の職員が給食に入った場合に、アレルギーを持つ子どもたちへの対応を分かっていないとできないことですので、校長会等を通じて再度、周知徹底していくように伝えたいと思います。

【報告第4 1号】 行事の共催・後援について

〈質疑なし〉

【報告第4 2号】 1月の各課の行事予定について

総務係長 ー資料に基づき説明ー

〈質疑なし〉

5. その他

【次回定例会の開催について】

教育長 ー次回定例会日程について確認ー

【その他】

総務係長 ー小学校への寄附についてー

文化創造担当部長 ー高井守資料の寄附についてー

教育総務課長 ー千曲坂城クラブだよりについてー

生涯学習課長 ー千曲万博についてー

文化創造担当部長 ー埋蔵文化財発掘調査についてー

〃 ー「帰ってきた社家文書」資料についてー

総務係長 ー学校担当教育委員についてー

6. 閉会 教育部長